

## 生命倫理学

科目到達目標: 医師になる上で必須の生命倫理の基本理念を習得する。

科目責任者(所属): 尾崎 米厚(環境予防医学)

連絡先: 自分が割り振られたディベート班の指導教員が、班活動の初日(6月12日)に通知

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/22(火)	1	111	医の倫理と生命倫理	黒沢 洋一	健康政策医学	生命倫理学の基本原則、医の倫理と生命倫理の規範をの重要性を認識する	生命倫理学、生命哲学、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、患者の権利章典、医師の義務と裁量権
2	5/29(火)	1	111	インフォームドコンセント	高橋 洋一	医学教育学	インフォームドコンセントの必要性と意義を説明できる	インフォームドチョイス、自己決定権、プライバシー、ニュルンベルク綱領、ジョグジャカルタ原則、医師法、説明と同意、納得診療
3	6/5(火)	4	111	インフォームドコンセント	高橋 洋一	医学教育学	インフォームドコンセントの方法と例外を理解できる	個人情報保護、情報開示、代理同意、精神疾患、救急患者、判例、説明義務違反
4	6/11(月)	5	111	ディベート準備の進め方	尾崎 米厚	環境予防医学	ディベート準備の方法を理解する	生命倫理、医療倫理のトピックス、ディベート、リンクマップ、文献検索、プレゼンテーション手法
5	6/12(火)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7	ディベート	黒沢・尾崎・金城・天野・桑原・増本	健康政策医学 環境予防医学	ディベート準備 生命倫理の諸問題	生殖医療、出生前診断、人工妊娠中絶、代理出産、不妊治療、卵子の保存、卵子核の人工的操作、終末期医療と安楽死・尊厳死、臓器移植、難病の遺伝学的発症前診断、遺伝子治療、治療的クローニング、再生医療(iPS細胞、ES細胞等)、脳機能エンハンスメント、脳死、QOL、臨床倫理、診療拒否、意識混濁患者のリビングウィル、胃ろう、人工透析、ALS閉じ込め症候群、がん告知、HIVパートナー告知、予防的乳房切除術、認知症患者の運転免許返納、民間療法・代替医療、遺伝子組み換え食品、がん登録義務化、がん検診法制化、自然災害時の入院患者置き去り、生活習慣病の保険外診療、医療政策、健康ゴールド免許、医療ツーリズム、生活保護のジェネリック医薬品、混合診療、医師の移民政策、室内全面禁煙の義務化等 最新の生命倫理の課題、臨床倫理の課題、医療政策の課題について 賛成派、反対派にわかれ、グループディスカッションを重ね、医学的、法的、国際的、公衆衛生学的根拠をもとにディベート準備を行い、立論プレゼンテーションを作成する。反駁および反駁への回答も準備する。
6	6/14(木)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
7	6/19(火)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
8	6/21(木)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
9	6/26(火)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
10	6/28(木)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
11	7/3(火)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
12	7/5(木)	4	ETU2-3~8, 3-3~13,4-3~7					
13~15	7/10(火)	3・4(0.5)	111	ディベート	黒沢・尾崎・金城・天野・桑原・増本	健康政策医学 環境予防医学	ディベート発表会 生命倫理の諸問題	各班のディベートのやり取りに参加する中で、生命倫理学の基本原則、重要な考え方、賛否の分かれる論点等を理解し、認識する。
	7/12(木)	3・4(0.5)	111	ディベート			ディベート発表会 生命倫理の諸問題	

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、7 学位授与の方針との関連: 2、3、4

授業のレベル: 中級から上級

評価: 定期試験50%、実習態度50%

その他: テーマに沿ったディベートを行います。テーマ及び班分けは担当分野で行います。

\*到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

各班の指導教員が、検討内容に沿ってその都度指示